

重点分野2 (中目標)	開発支援（持続的・自立的発展のための支援）											
開発課題2-1 (小目標) 経済・インフラ開発	【現状と課題】 30年以上にわたる内戦及び国内の混乱により、アフガニスタン国内の基幹インフラは破壊された。2014年末に国際治安支援部隊(ISAF)からアフガニスタン治安部隊へ治安権限が移譲され、同国にとって、自立的かつ持続可能な開発及びそれを支える経済成長の達成の必要性は一層高まっている。内陸国であり交易の要衝である同国において、人と物資の円滑な移動・輸送を可能にすることで、国家収入の増加、投資基盤の整備、経済活動の促進及び雇用創出にもつなげる運輸インフラ整備の需要は大きい。特に経済発展を左右する、道路網及び航空輸送網整備等は重要な課題となっている。また、人口集積と市場・経済活動の拠点となるカブールを中心とする都市部の開発は重要であり、様々な都市問題とともに、持続的な都市開発が課題となっている。					【開発課題への対応方針】 アフガニスタンの中長期的な成長と安定に重要な周辺国との連結性向上も見据え、空港等のインフラ整備を支援する。また、都市問題を解決すべく、カブール市の再開発等、首都圏の開発を進める。その際には、協調・連携を念頭に他ドナーや官民連携(PPP)の動向も注視していく。						
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
		アフガニスタンの都市問題（水資源、電力供給等）を改善し、持続的な経済発展のため経済インフラの基盤整備及び行政能力向上支援を行う。	土地区画整理・都市再開発におけるカブール市役所機能向上プロジェクト	技プロ							6.10	
			カブール市道路建設管理能力強化プロジェクト	技プロ							4.51	
			カブール国際空港保安機能強化計画	無償							44.27	
			空港維持管理能力強化支援計画	無償							9.68	
			デサブ南地区給水施設整備計画	無償							25.61	
			カブール市南東部地区アクセス改善計画	無償							12.50	UNOPS
			都市開発分野の第三国研修	第三国研修								
			都市開発・運輸交通分野の課題別研修	課題別研修								
	電力分野の第三国研修		第三国研修									
	電力分野の課題別研修		課題別研修									

開発課題 2-2 (小目標) 農業・農村開発	【現状と課題】 農業は、アフガニスタンの人口の7割以上が従事し、GDPの3割強を占める同国の基幹産業である。農業及び農村の活性化は貧困削減や雇用促進の観点からも重要であるが、農業生産性が低く、洪水及び干ばつに対し脆弱な状況であり、引き続き水資源の確保や灌漑インフラ整備、適正品種・栽培方法の普及、市場メカニズムに基づく持続可能な農業開発に取り組んでいく必要がある。また、自然条件等により、農業による生計確保が容易でない山岳地帯などにおいては、農村開発の視点が特に重要であり、地元ニーズに基づく参加型開発の推進や公共サービス提供の改善が求められている。		【開発課題への対応方針】 アフガニスタン国民の生活安定化と経済的自立発展のため、横断的課題である水資源開発・灌漑分野への取り組みとともに、雇用吸収や経済成長の側面で重要となる農業分野の振興、貧困地域などにおける農村開発に取り組む。その際には、民間分野の育成にも留意していく。						支援額 (億円)	備考		
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間							
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度			2021 年度	2022 年度
	チェンジ・マネージメント（行政機能・能力強化、人材育成）プログラム	農村に届く充実した行政サービスの提供を実現し、持続的なものとするための行政機能・能力強化、人材育成支援を行う。	農業灌漑牧畜省組織体制強化プロジェクト	技プロ	■	■	■	■			20.09	
	水資源開発・管理改善プログラム	灌漑及び他の水システム、土壌、放牧地、森林を回復させるもの。特に、農業・農村開発に不可欠な水資源開発及び管理支援を重視する。	灌漑システム改善及び組織能力強化を通じた農業生産性向上計画	無償	■	■					14.87	FAO
水文気象情報管理能力強化プロジェクト			技プロ	■	■					7.79		
水資源開発・管理分野の第三国研修			第三国研修	■	■							
水資源開発・管理分野の課題別研修			課題別研修	■	■							
	農業生産性向上プログラム	農業生産の拡大と生産性の向上、及び生産から輸出までの「バリューチェーン」の整備・強化を目指す。具体的には、農業生産性及び農業経済の改善に取り組む。	稲作振興支援プロジェクト	技プロ	■	■	■	■			16.42	
農業灌漑補修・開発計画他			マルチ		■						2.32百万USD	ARTF
口蹄疫等対策支援計画			無償	■	■						19.98	FAO
ヘラートにおける農業のバリューチェーン向上計画			無償	■	■	■					10.00	UNOPS
アフガニスタン西部地域における灌漑・生計強化による経済改善計画			無償		■	■					5.47	FAO
第二次タジキスタン－アフガニスタン国境地域生活改善計画			無償	■	■	■					10.33	UNDP
	その他 個別の案件		農業・農村開発分野の課題別研修	課題別研修	■	■						
			農業分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■					0.07	

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
				2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
【現状と課題】 30年以上にわたる内戦及び国内の混乱により、経済社会インフラは壊滅的な打撃を受けた。2001年のタリバーン政権崩壊以降、国際社会の支援を通じた復興により、基本的な教育・保健指標に改善が見られるものの、依然として人間開発指数は世界最低水準にあり、基礎的な社会サービスの拡充が喫緊の課題となっている。アフガニスタン政府が、人々からの信頼を獲得し、持続的・自立的発展を成し遂げるためには、国民生活の安定化や経済基盤の構築を図ることが不可欠であり、教育、保健・医療等の基礎生活分野において、人々が状況改善を実感できる具体的な成果が必要。そのためには、健全なガバナンスに基づく行政サービスの提供とそれを支える人材育成が極めて重要な要素となっている。		【開発課題の対応方針】 人々の生活に必要な基本的な社会サービスの質と量の拡充のため、感染症対策及び母子保健の改善等に関連する支援を実施する。「平和と成長のための学びの戦略」に基づき、アフガニスタンの将来を担う若者の教育機会を確保し就業の促進を目指すほか、識字及び特別支援教育等、「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を促進する」というSDG4の実現に寄与し、同国の未来に資するプロジェクトを実施し、ガバナンスの改善および人材育成を支援する。									
職業訓練を通じた適切かつ持続可能な労働の促進プログラム		識字能力強化計画(第三期)	無償	■						20.20	教育科学文化機関(UNESCO)
		識字教育強化プロジェクトフェーズ2	技プロ	■						11.56	
		識字教育分野の課題別研修	課題別研修	■							
高等教育機会の拡大プログラム		未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト(PEACE)	技プロ	■	■					42.34	
		未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト(PEACE)フェーズ2	技プロ	■	■					29.26	
万人のための教育プログラム		初中等教育への公平なアクセスの向上、及び特に遠隔地で、不安定かつ不利な地域においてコミュニティーのオーナーシップの強化、及び、男女の教育格差の解消を目指す。	教師教育における特別支援教育強化プロジェクトフェーズ2	技プロ	■					3.80	
		中央高地3県における学校建設計画	無償	■						18.95	UNICEF
		緊急事態下での児童のための継続的な教育アクセス	マルチ		■					0.8百万USD	UNICEF
		基礎教育分野の課題別研修、青年研修	課題別研修他	■							
感染症対策・基礎保健サービス強化プログラム		アフガニスタンの保健システムが強化された制度の下、保健分野の人的資源ニーズの充足、雇用機会の提供を通じ、あらゆるレベルで責任を果たせるようにする。	結核対策プロジェクトフェーズ3	技プロ	■					1.41	
		小児感染症予防計画	無償	■						9.78	UNICEF
		結核対策薬品機材整備計画	無償	■						12.35	WHO
		抗結核薬及び新診断用品整備並びに薬剤耐性結核短期治療実施モニタリング計画	無償	■	■					9.81	WHO
		母子保健改善計画	無償	■						13.98	UNICEF
		母子手帳推進計画	無償		■	■				8.94	UNICEF
		緊急保健ニーズに対する人道的対応	マルチ		■					0.5百万USD	WHO
		保健分野の課題別研修、青年研修	課題別研修他	■							
その他個別の案件		選挙支援計画	無償	■						14.73	UNDP

開発課題 2-3
(小目標)
人材開発
(教育及び保健・医療等の基礎生活分野)

	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度			
その他（緊急人道 支援等）	その他 個別の案件		アフガニスタン支援(税関)フェーズ3	第三国研修	■								
			税分野の課題別研修	課題別研修	■								
			災害リスク管理能力強化計画	無償	■						11.72	IOM	
			都市強靱化計画	無償	■						3.76	UN-HABITAT	
			アフガニスタンにおける人道・テロ対策・社会安定化支援	マルチ		■					4.4百万USD	IOM, WFP, UNHCR, ICRC, UNITAR, OCHA	
			食糧援助	食糧援助		■					3.00	WFP	
			アフガニスタン人道危機対応支援	無償	■						2.18	ジャパン・プラットフォーム	
			日本NGO無償資金協力(教育, 防災, 地雷対策, 人材育成分野)(6件)	日本NGO	■						4.53		

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査), 「詳細設計」(=詳細設計), 「技プロ」(=技術協力プロジェクト), 「開発計画」(=開発計画調査型技術協力), 「個別専門家」, 「個別機材」, 「国別研修」, 「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修), 「JOCV」(=青年海外協力隊), 「SV」(=シニア海外ボランティア), 「第三国専門家」, 「第三国研修」, 「現地国内研修」, 「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型)), 「草の根技協」(=草の根技術協力), 「OO省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力), 「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業), 「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力), 「水産無償」(=水産無償資金協力), 「食糧援助」(=食糧援助), 「一般文化」(=一般文化無償資金協力), 「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力), 「緊急無償」(=緊急無償資金協力), 「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力), 「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力), 「有償」(=円借款, 海外投資), 「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査), 「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協カスキーム), 「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」, 「案件化調査」及び「普及・実証事業」, 並びに中小企業連携促進基礎調査), 実線「——」(=実施期間), 破線「- - -」(=実施予定期間)
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。